

平成30年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)					平均無解答率(%)				
			国語A	国語B	数学A	数学B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
3 年	学校	43	70	56	55	38	58	4.0	4.9	7.2	21.9	7.3
	大阪市	—	74	58	63	44	63	3.6	4.1	3.7	14.9	5.9
4月17日	全国	—	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	3.1	3.0	3.3	12.6	5.0

平成30年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

<国語>

平均正答率の対全国比は国語A国語Bともに92%に改善されたが、まだ全国の平均には届いていない。国語A「目的に応じて文の成分の順序や構成を考えて、適切な文を書く」ことには一定の成果が見られる。「話の論理的な構成や展開などに注意して聞く」「話し合いば話題や方向性を捉えて的確に話す」ことには課題がある。国語B「文章の構成や展開について自分の考えを持つ」ことには一定の成果が見られるが、「全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す」ことには課題がある。領域としては「話すこと・聞くこと」に課題がある。

<数学>

平均正答率の対全国比は数学A83%数学B81%と改善されたが、まだ全国の平均には届いていない。正答数の分布においても中間層が少なく、下位層にも多くの分布があるという課題がある。生徒質問紙の「数学の勉強は好きですか」「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないかかんがえますか」に対する肯定的回答がそれぞれ全国平均を6.6ポイント、5.2ポイント上回っており成果が見られる。数学A「文字式に数を代入して式の値を求める」「具体的な場面で関係を表す式を等式の性質を用いて目的に応じて変形する」「与えられた資料から中央値を求める」ことに課題がある。数学B「発展的に考え、条件を変えた場合について証明の一部を書き直す」ことに課題がある。

<理科>

平均正答率の対全国比は87.7%で、分野による大きな差はなかった。正答数の分布については正規分布を示さず、3~4の層に分かれて分布が見られる。特定の分野に限らず、全体的な学力の底上げが必要である。それぞれの習熟の度合いに応じた指導を行う必要がある。今回の調査では「水溶液の濃さや無脊椎動物に関する学習において、1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性がある要因を指摘すること」「化学変化と熱についての問題において発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係強いことを指摘すること」に課題が見られる。領域では地学的領域に課題が見られる。

【今後に向けて】

<国語>

語彙数を増やすため、毎日の授業で語句の小テストに取り組む。また、自分の意見を元にその理由を説明する文章を書き、発表する機会をふやし、「話すこと」の領域の力を向上させる。

<数学>

数学的な興味を持っている生徒にさらに力をつける授業に取り組む。また、正答数の標準偏差が大きいことから、習熟度別少人数授業を充実させ数学が苦手な層の生徒の学力の底上げを図る。

<理科>

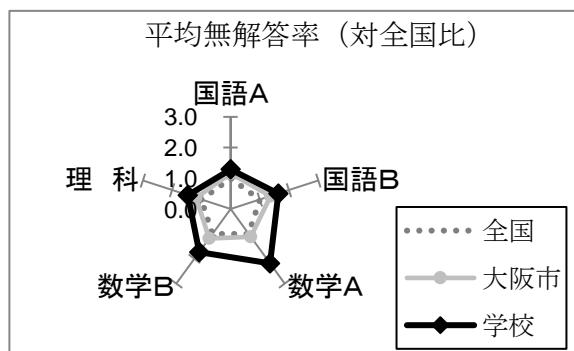
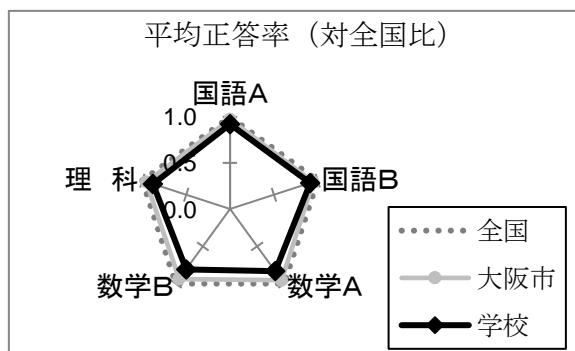
宿題や家庭学習を工夫しながら、家庭学習習慣の定着を図る。また生徒質問紙の「将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思いますか」に対して「当てはまる」と答えた生徒の割合が全国の2倍以上もあり、今後も生徒に興味を持たせながら学習意欲を高める授業を行っていく。

平成30年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

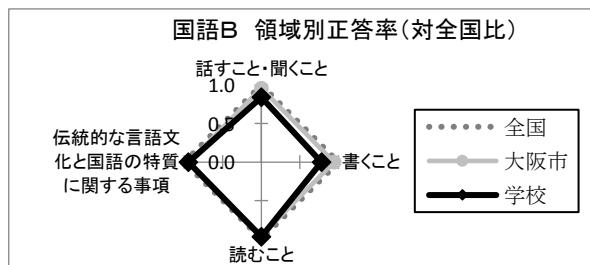
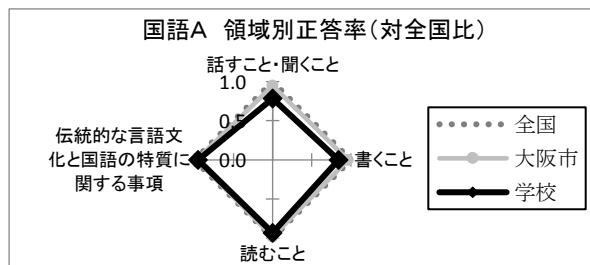
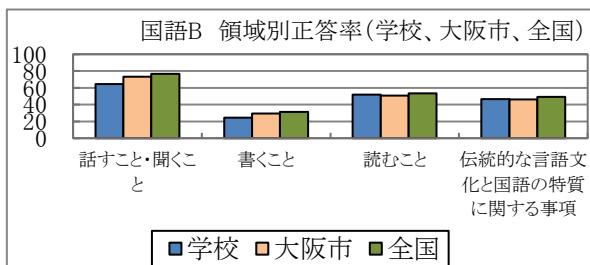
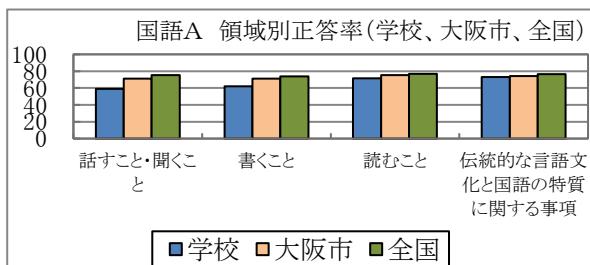
	平均正答率(%)					平均無解答率(%)				
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
学校	70	56	55	38	58	4.0	4.9	7.2	21.9	7.3
大阪市	74	58	63	44	63	3.6	4.1	3.7	14.9	5.9
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	3.1	3.0	3.3	12.6	5.0



【 国 語 】

A 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	58.9	71.2
	書くこと	4	62.2	71.1
	読むこと	4	71.5	75.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	72.9	74.3
				76.5

B 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	64.3	73.3
	書くこと	2	24.4	29.5
	読むこと	6	51.9	50.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	46.5	46.3
				49.2

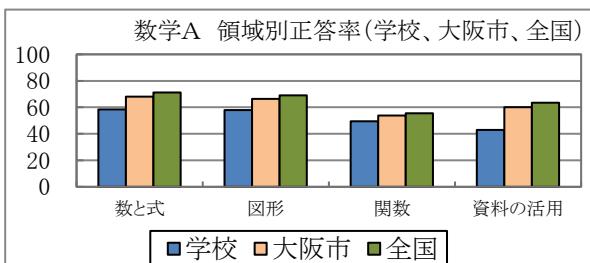


**平成30年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

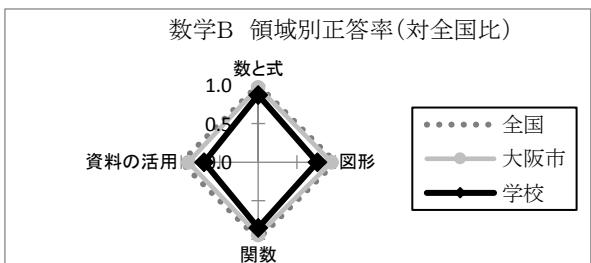
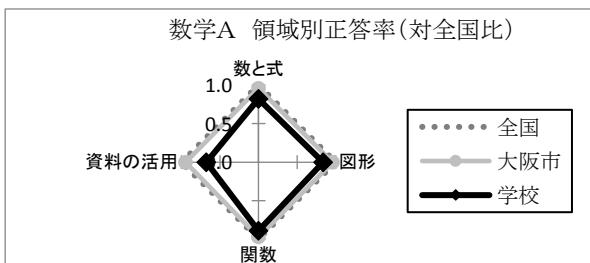
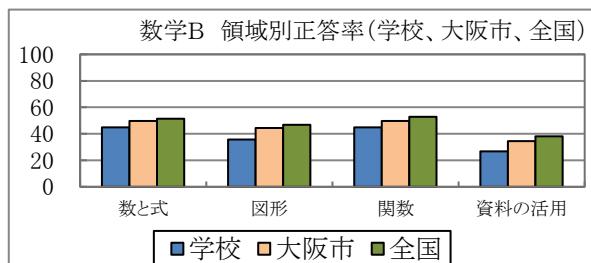
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 数 学 】

A 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	12	58.3	68.1
	図形	12	57.9	66.3
	関数	8	49.4	53.9
	資料の活用	4	43.0	60.1

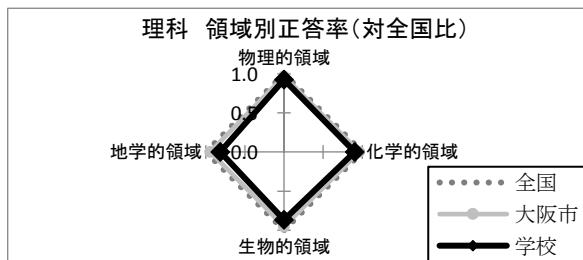
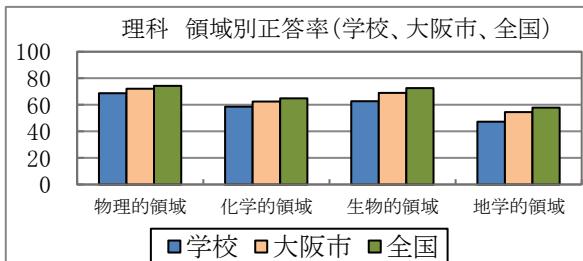


B 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	4	44.8	49.8
	図形	3	35.7	44.4
	関数	3	45.0	49.8
	資料の活用	4	26.7	34.5



【 理 科 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
第1分野	物理的領域	7	68.8	72.1
	化学的領域	8	58.7	62.4
第2分野	生物的領域	6	62.8	68.9
	地学的領域	7	47.2	54.5



**平成30年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

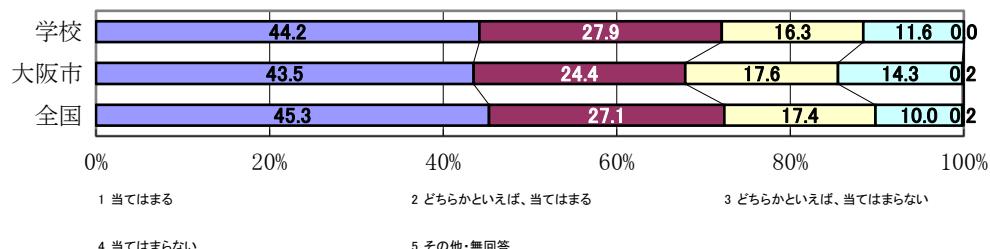
生徒質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

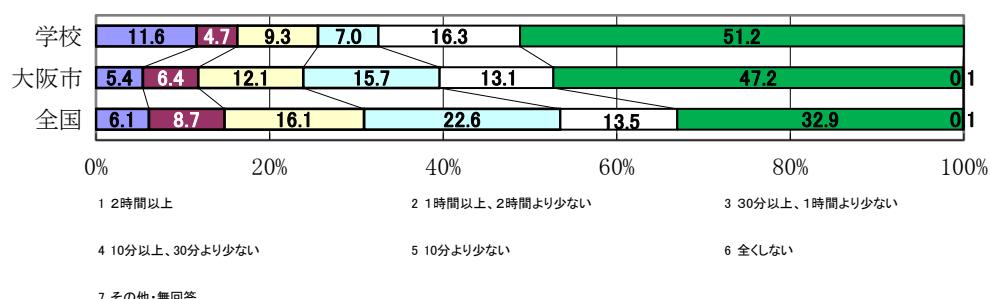
3

将来の夢や目標を持っていますか



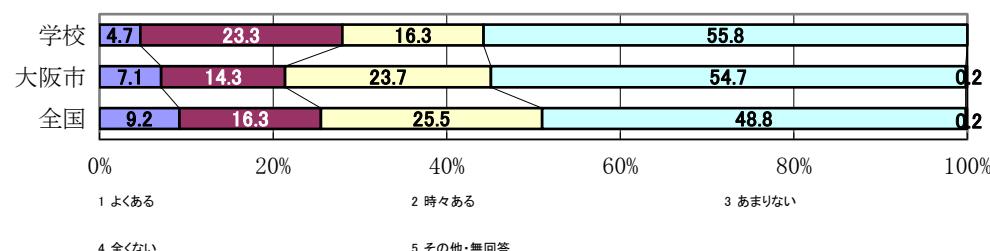
15

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



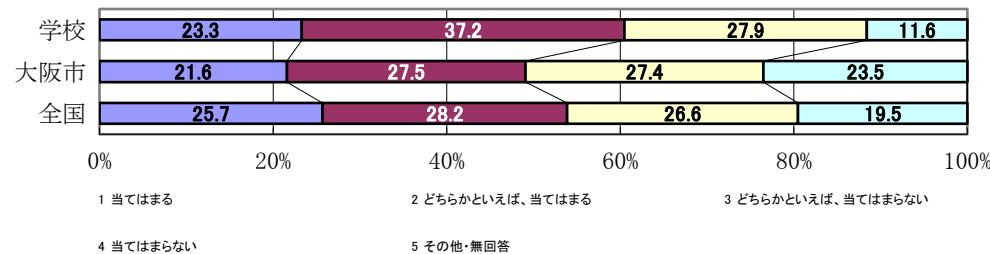
24

地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることありますか



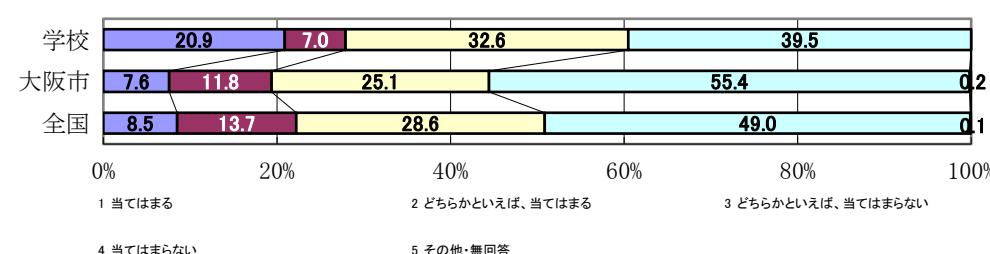
27

数学の勉強は好きですか



44

将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか



**平成30年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

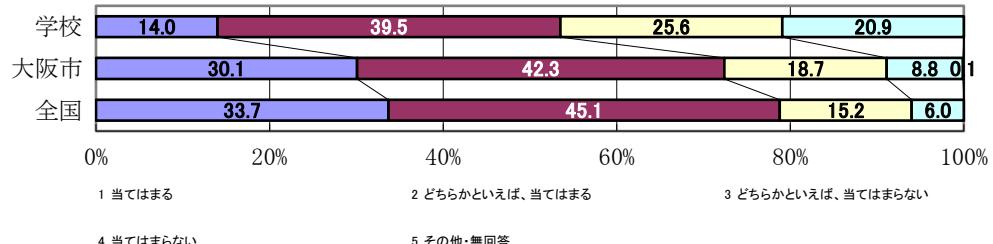
生徒質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

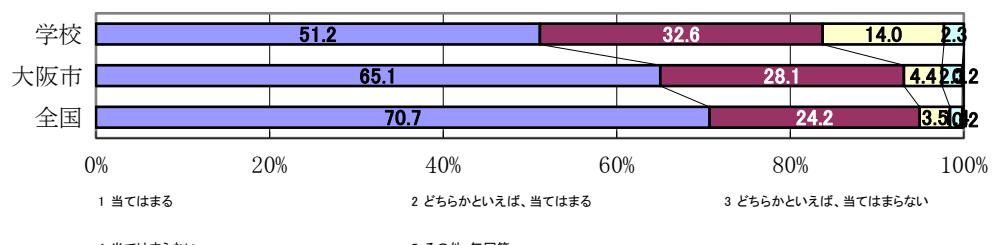
1

自分には、よいところがある
と思いますか



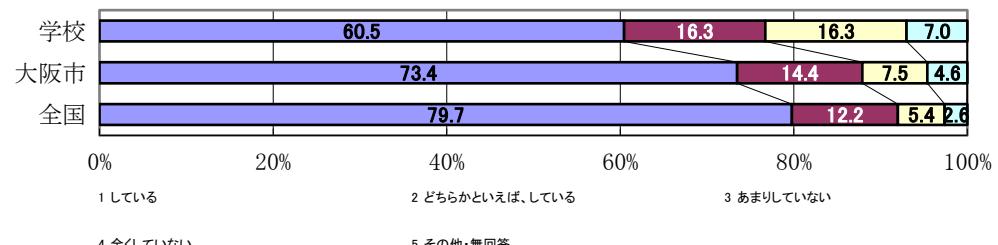
6

人の役に立つ人間になりたい
と思いますか



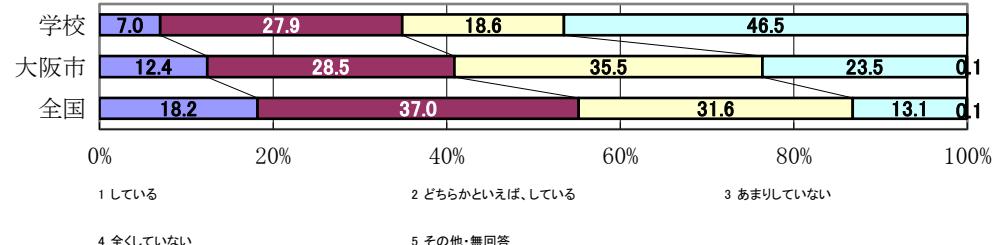
7

朝食を毎日食べています
か



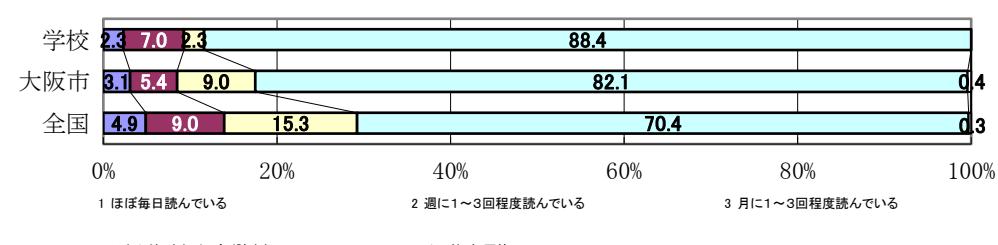
12

家で、学校の授業の予習・
復習をしていますか



25

新聞を読んでいますか



**平成30年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

学校質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

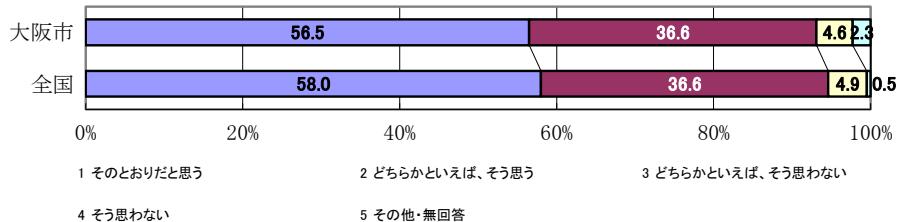
質問番号

質問事項

12

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

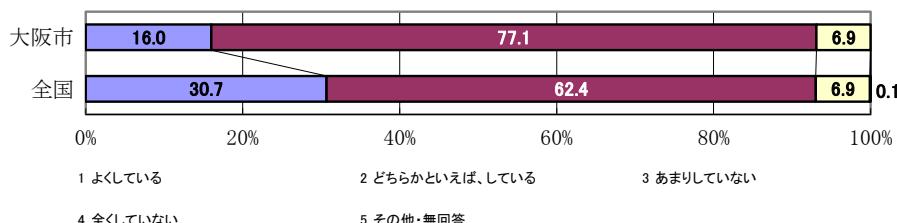
学校 「そのとおりだと思う」を選択



17

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

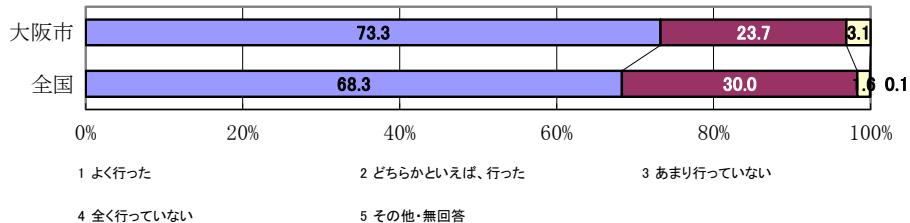
学校 「よくしている」を選択



24

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか

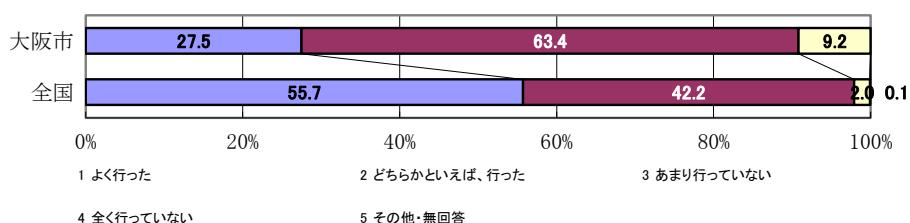
学校 「よく行った」を選択



29

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか

学校 「よく行った」を選択



57

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択

